



2024年3月期第3四半期決算補足説明資料

2024年2月13日現在

株式会社海帆

証券コード:3133

目次

I	会社概要 p.3
II	2024年3月期 第3四半期決算概況 p.7
III	計画の進捗状況 p.17

I. 会社概要

会社概要

会社名	株式会社海帆(かいはん)
所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号 名古屋総合市場ビル
連絡先	TEL 052-586-2666 FAX 052-586-2555
創立	2003年5月
代表	守田 直貴
資本金	1,661百万円 (2023年12月末日現在)
従業員	63名 (92名) (2023年12月末日現在) ※ 使用人員は就業員数であり、()外数は臨時従業員の平均人数(1日8時間換算)であります。 ※ 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。 ※ 従業員数は、海帆単体の人数を記載しております。
事業の内容	居酒屋を中心とした飲食店舗の企画開発及び運営 再生可能エネルギー資源を利用した発電所の開発、発電及び売電など
連結子会社	株式会社SSS 株式会社大三萬年堂LAB KR ENERGY JAPAN合同会社 KR エナジー1号合同会社

【社 是】

幸せな食文化の創造

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新しい食文化の醸成を目的とし社会に貢献し人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。

【経営理念】

常により良い商品と真心のサービスを通じ、 お客様に美味しさと満足を提供します。

常により良い商品……成長性、収益性、経済性、安全性を高めた商品
真心のサービス……お客様第一主義であること
美味しさと満足を提供…顧客、従業員ともの感動満足を共有

株式会社海帆の沿革

年	月	主要な事項
2003	5	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号に飲食店の経営を主な事業目的として、有限会社海帆(資本金3,000千円)を設立
	6	名古屋市守山区に第1号店として、「なつかし処昭和食堂 小幡店」を開店
2006	10	有限会社海帆を、株式会社海帆へ商号変更
2009	9	広告代理業務を内製化するために、有限会社アドハンを吸収合併
2010	8	昭和食堂を運営していた、「中京ニックス株式会社」から9店舗を一括取得
2012	3	株式会社魚帆を100%子会社化
2015	4	東京証券取引所マザーズ市場上場
2019	6	「立喰い焼肉 治郎丸」を事業譲受により取得
	12	「海鮮個室居酒屋 葵屋 浦和店」を事業譲受により取得
2020	1	株式会社魚帆を清算
2021	5	株式会社ファッズと「新時代」のフランチャイズ契約を締結
	7	三重県鈴鹿市、三重県津市、岐阜県大垣市、岐阜県岐阜市の既存店を「新時代」にリニューアルオープン
2022	4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、マザーズ市場からグロース市場へ移行
	7	株式会社SSSの株式を取得し子会社化
	10	再生可能エネルギー事業参入のため、当社子会社としてKR ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日商号変更)を設立
	12	当社子会社への第三者割当増資により、休眠会社であった株式会社エストを株式会社大三萬年堂LABへ商号変更
2023	3	匿名組合出資によるKRエナジー1号合同会社を子会社化

Ⅱ. 第3四半期 決算概況

株式会社海帆

証券コード:3133

四半期トピックス

1

第3四半期累計期間の売上高における前年同期比は**20.8%増加**
売上総利益も**24.2%増加**と収益構造改革が順調に推移しております。

2

飲食事業において、第2四半期に引き続き**黒字**となっております。
141百万円の黒字を計上

3

再生可能エネルギー事業において、太陽光発電設備における売電が2023年9月から開始しており、第3四半期は**20物件**が**売電を開始**しております。

4

事業の進捗を記載しております。
再生可能エネルギー事業においては、様々な取り組みを進めております。

業績予想の修正について

本日、決算短信と同時に業績予想の修正についても公表いたしました。

当社は、既存株主様へ多大なるご迷惑とご心配をおかけしつつも、皆様のご理解のもと、2022年3月に第三者割当増資及び新株予約権の発行により大規模な資金調達を行っております。

この資金により、子会社である株式会社SSSを買収したり、不採算店舗の閉鎖を行うなどの構造改革を進めてまいりました。

飲食事業においては、採算の取れる立地での出店を計画しておりましたが、その後の再生可能エネルギー事業における大手需要家との長期売電契約を受注したことにより、飲食店舗の出店よりも太陽光発電所の取得に資金を投下した結果、新規飲食店より獲得する予定だった予定売上高が減少した事が起因となります。

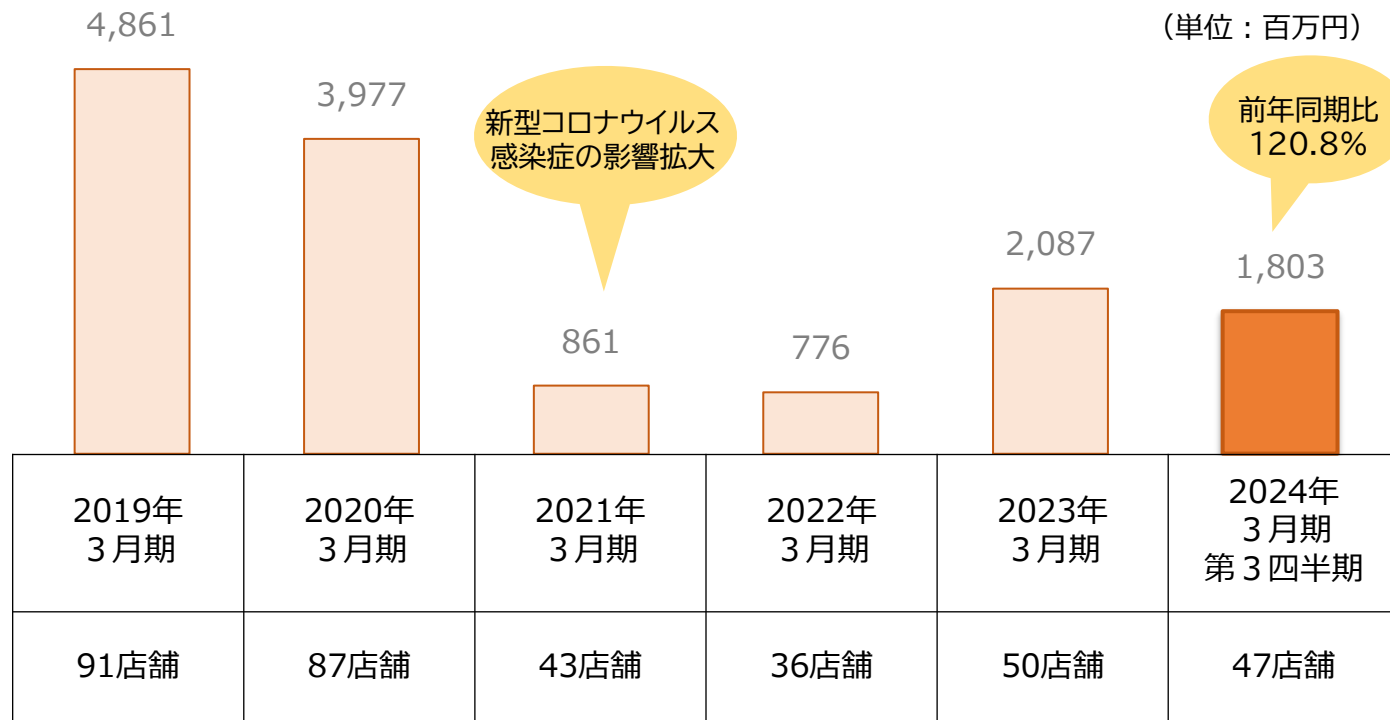
もう一つの要因としましては、大手不動産会社向けへ当社が建築・取得した太陽光発電所を売却するモデルを計画しておりましたが、こちらも売却ではなく当社子会社が保有し、前述の大手需要家向け発電所として稼働する事といたしました。

以上の理由により、計画売上高及び利益は減少しておりますが、全体での利益率等は改善をしており、確実に事業構造は変革を続けております。

この投資判断は、即時の収益確保よりも、より長期的に安定した収益を獲得する事を目的に行なっており、今後確実に当社の業績改善へ結びつくものと確信しております。

2024年3月期第3四半期 売上高の推移

新型コロナウイルスが「5種」に移行したことで、外出機会が増えたことやインバウンド(訪日外国人)の需要が伸びたこと、また、コロナ禍で減少した店舗数が徐々に増加したことで、当社の売上高は順調に回復しております。



- ※ 1、2019年3月期までは連結決算、2020年3月期から2022年3月期は単体決算となっております。
- ※ 2、2023年7月より再び連結決算に移行しております。
- ※ 3、店舗数はFC店舗も含みます。
- ※ 4、「収益認識に関する会計基準」等を2022年3月期から適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

2024年3月期第3四半期 損益計算書サマリー

ロシア・ウクライナ情勢の長期化や円安の進行による物価上昇の影響により、原材料価格が高騰しておりますが、既存店の売上高は順調に増加しており、売上高総利益は去年同期と比較し311百万円増加しております。

しかしながら、子会社にて行っている太陽光発電設備の取得に関して、コストが先行して発生しているため、営業損失は前年と比較し△86百万円となりました。

詳細は、2024年2月13日発表の「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

単位：百万円

		2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	増減
		連結	連結	
P / L 項目	売上高	1,492	1,803	311
	売上総利益	972	1,207	235
	営業損失(△)	△362	△448	△86
	経常損失(△)	△404	△446	△42
	税引前四半期純損失(△)	△458	△489	△31
	親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△508	△528	△20

※「収益認識に関する会計基準」等を2022年3月期から適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

2024年3月期第3四半期 貸借対照表サマリー

子会社であるKR ENERGY JAPAN合同会社ならびにKRエナジー1号合同会社にて、太陽光発電設備の取得を行っているため有形固定資産の額が増加しております。

また、既存の借入金の返済は行っておりますが、子会社であるKRエナジー1号合同会社にて新たに借入(7.5億円)を行ったことにより、借入金(負債)が増加しております。

詳細は、2024年2月13日発表の「2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

単位:百万円

		2022/3期末 単体	2023/3期末 連結	2023/3期 第3四半期 連結
B / S 項目	総資産	2,124	2,660	3,780
	負債	1,674	2,369	2,750
	(うち借入総額)	918	1,180	1,794
	純資産	449	290	1,030
指標	自己資本比率	20.1%	10.9%	27.2%
	流動比率	167.6%	88.1%	60.0%
	現預金比率	148.1%	23.6%	42.9%

※自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本 (他人資本 + 自己資本) × 100 (%)
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
現預金比率 = 現預金 ÷ 流動負債 × 100 (%)

2024年3月期第3四半期 セグメント

当社は、2023年3月期第2四半期までは飲食の単一セグメントでしたが、2023年3月期第3四半期より再生可能エネルギー事業を開始したことにより、報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報を開示しております。

2024年3月期第3四半期に関しましては、既存店を「新時代」に業態変更したことによる売上高が増加したこと、また、株式会社SSSの株式を取得したことにより、飲食事業のセグメントは2024年3月期第2四半期につづき黒字化しております。

再生可能エネルギー事業に関しては、大部分の太陽光発電設備が建築中ではありますが、一部の太陽光発電設備が完成しており2023年9月後半より売電を開始しております。

単位：百万円

	報告セグメント			調整額 (※1)	四半期連結財務諸表 計上額(※2)
	飲食事業	再生可能 エネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,802	1	1,803	—	1,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,802	1	1,803	—	1,803
セグメント利益又は損失(△)	141	△183	△41	△406	△448

※1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等65百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円であります。

※2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

飲食事業の業態

昭和食堂、えびすや



治郎丸



葵屋



新時代(FC加盟)



BABY FACE PLANET'S (FC加盟)



しんぱち食堂(FC加盟)



再生可能エネルギー事業

太陽光発電設備の開発・建設

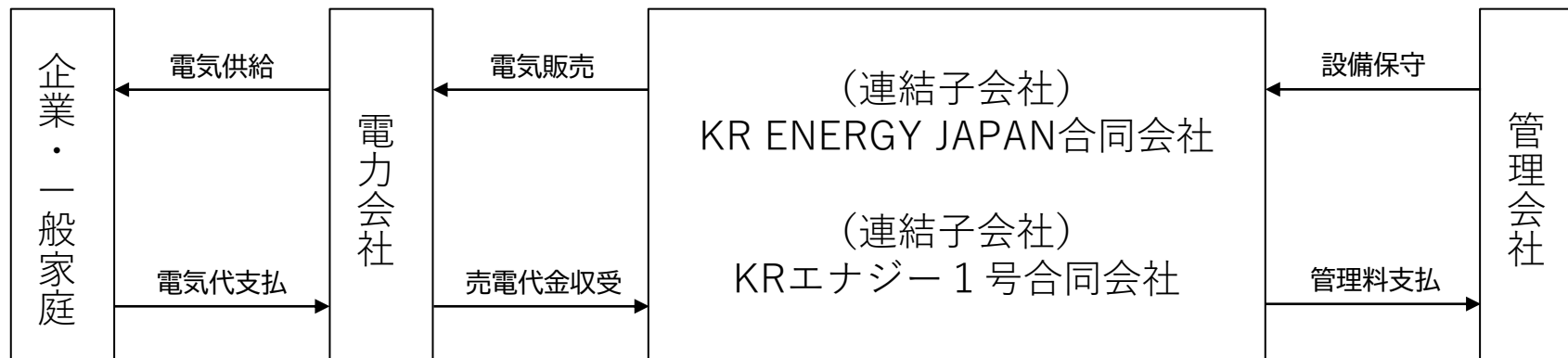
再生可能エネルギー事業の一つとして、太陽光発電設備の開発・建設に着手しております。

新型コロナウイルスの感染症拡大等によるパンデミック発生時においても、安定的な収益基盤を築くこと、また世界的な脱炭素社会にむけて少なからず貢献できると考え、事業を推進しております。

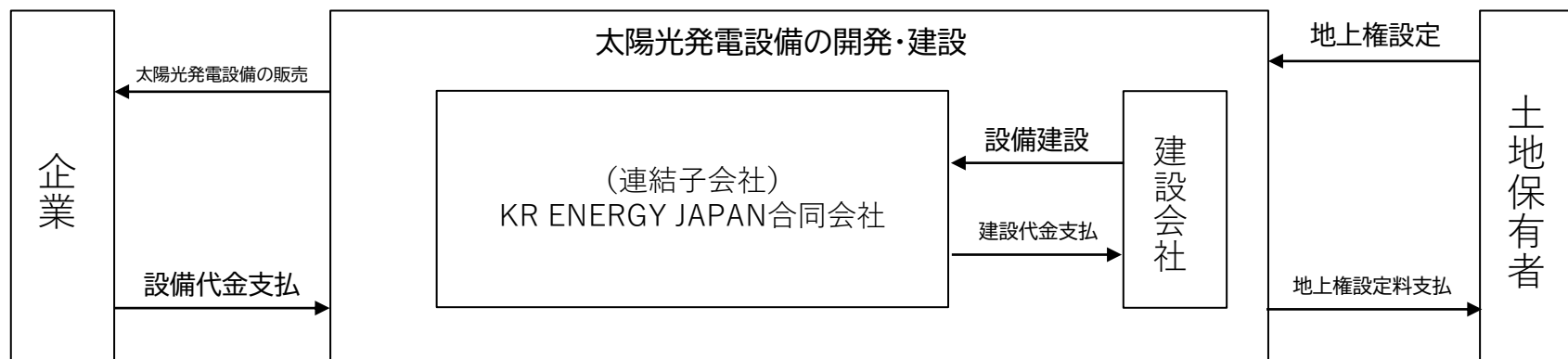


再生可能エネルギー事業 ビジネスモデル

太陽光発電による電力の主な売買フロー



太陽光発電設備の開発・建設と販売



Ⅲ. 計画の進捗状況

株式会社海帆

証券コード:3133

2024年3月期の業績予想に関して

2024年2月13日に開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2024年3月期第3四半期累計期間の実績及び今後の事業予想を反映し、業績予想の修正を行っております。

詳細は、2024年2月13開示の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(単位：百万円)

	2022/3期 累計期間	2023/3期 累計期間	2024/3期 第3四半期	2024/3期 累計期間	前年 差異
	単体	連結	連結	連結	
売上高	776	2,087	1,803	2,344	257 ↗
売上総利益	501	1,377	1,207	1,565	188 ↗
営業損益	△703	△601	△448	△643	△42 ↘
経常損益	△348	△633	△446	△644	△11 ↘
当期純損益	△453	△1,135	△528	△782	353 ↗

飲食事業に関して

現在、好調な業績である「新時代」の新規出店に向け、当社のニーズに合う物件の取得に向けて店舗開発を行っております。新規出店に関しては、継続的に物件取得などに向けて動いておりますので、出店の際は別途適時開示(固定資産の取得等)にてお知らせいたします。

また、2023年11月16日に新横浜にて「黒霧屋」をオープンいたしました。

本業態は居酒屋であります。一部カラオケを利用できる空間をご用意しておりますので、居酒屋の食事を楽しみながらカラオケも利用したいというお客様は是非ご利用ください。

※開示時は「京こまち」の店舗名称予定でしたが、手続きの都合上「黒霧屋」へ名称変更を行いました。



※写真はイメージです。季節や仕入れる食材によって変更になる場合があります。

再生可能エネルギー事業

太陽光発電設備の開発状況

再生可能エネルギー事業を推進するため、太陽光発電設備の開発・建設に着手しております。
太陽光発電による電力売買や、太陽光発電設備資産の販売など、今後も積極的に取り組んで参ります。



未使用となった農地等を取得



整地作業



フェンスの設置や杭打ち等



ケーブルや架台設置



太陽光パネルの設置

再生可能エネルギー事業

長期売電契約

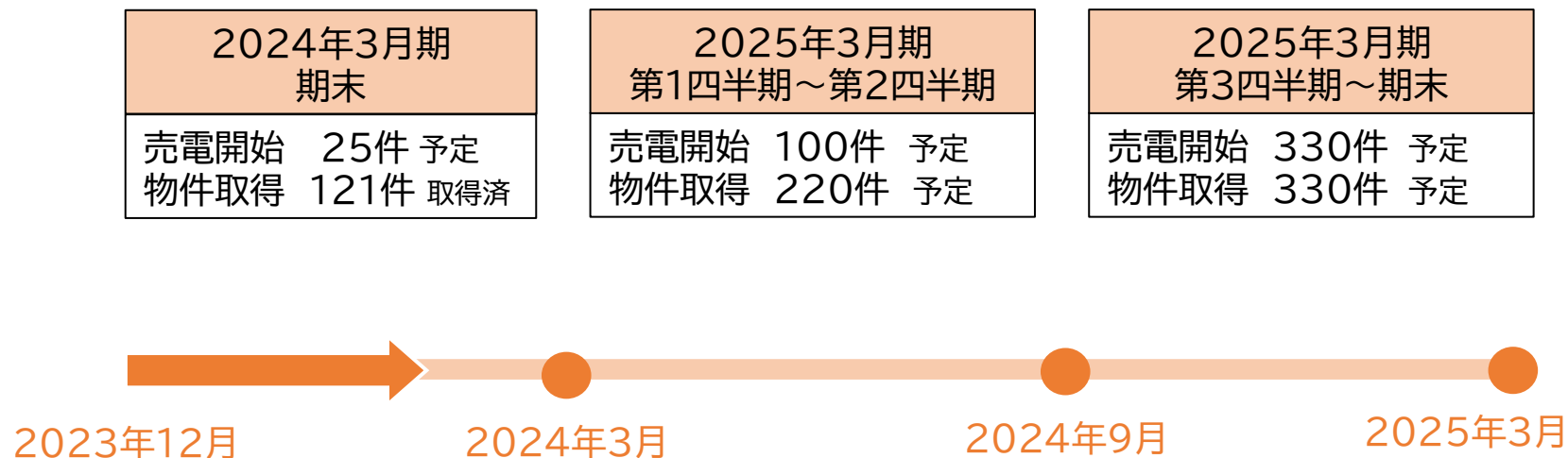
安定的な長期売電契約に基づき、16.335MW-AC のNon-FIT低圧太陽光発電所のうち、既に5.94MW-AC(120区画)を取得建築中となっており、120区画に対する進捗率は60.6%と順調に進んでおります。

今後、残りの区画取得を加速させ、再生可能エネルギー事業を拡大していく予定となっております。
新たに区画の取得などを行う際は、別途適時開示にてお知らせいたします。



再生可能エネルギー事業

Non-fit低圧太陽光発電所の建設は2025年3月期末までに、330件の物件取得の完了を目指し、全ての物件が売電開始するように進めてまいります。



再生可能エネルギー事業

太陽光発電量及び売電価格集計システム共同開発

2023年7月4日に開示しました「太陽光発電量及び売電価格集計システム共同開発に関するお知らせ」のとおり、「株式会社エナジーリンクス」と共同で太陽光発電所の発電量及び売電価格を一括で取得できる機能を有しているシステム開発を行うことといたしました。

その他再生可能エネルギー事業への取り組み

2023年6月29日に開示しました「事業計画及び成長可能性に関する事項」のロードマップに記載のとおり、当社では太陽光発電以外での再生可能エネルギーの検討も行っております。

2023年7月31日に開示しました「シンエネルギー開発株式会社との業務委託契約締結に関するお知らせ」のとおり、当社の飲食事業において、店舗から出る食品残渣(フードロス)等を、再生可能エネルギーに転換して有効活用できないか、「シンエネルギー開発株式会社」に発電に係る検証等を依頼しております。

今後、事業化をすることができると判断した場合は、別途適時開示にてお知らせする予定です。

再生可能エネルギー事業

電力受給契約の締結

2023年9月19日に開示しました「連結子会社における電力受給契約締結に関するお知らせ」のとおり、太陽光発電設備の一部が完工したことにより発電が可能となったため、株式会社UPDATERと電力受給契約を締結し、企業や一般家庭にも電力を供給できるようになりました。

LONG MOTIVE(M)SDN.BHD.とのコンサルティング契約締結

2024年1月4日に開示しました「LONG MOTIVE(M)SDN.BHD.とのコンサルティング契約締結並びに 合同会社SOLAR99との業務委託契約締結に関するお知らせ」のとおり、合同会社SOLAR99に一部の業務を委託しつつ、マレーシア国内で運営予定である大規模データセンターの開発・建設において、LONG MOTIVE(M)SDN.BHD.が今後の企業成長のために取得を希望している複数のISO(国際標準化機構)規格の取得並びに企業内におけるEHS(環境・衛生・安全)管理及びESG(環境/社会/ガバナンス)活動に対するコンサルティングを行うこととなりました。

— 本資料等に関する注意事項 —

本資料につきましては、当社グループが現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものが含まれており、これらとは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。従って、実際の業績が、本資料の予想とは大きく異なる可能性がございます。

各データや資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、あくまで当社をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

【お問合せ先】

株式会社海帆 IR担当

E-mail : ir@kaihan.co.jp

株式会社海帆

証券コード:3133